



結婚・子育てを支援するとともに、女性の活躍と
社会参画を促進
主担当部局：こども・女性局



目指す姿

安心して子どもを生き育てられる環境づくりを推進し、次世代を担う子どもの心と命を守ります。また、就労支援を通じた女性の社会参画を促進するとともに、女性がいきいきと輝く社会づくりを目指します。



● 仕事と子育てを両立できる環境づくりのため、

保育所待機児童の
解消と多様な保育
サービスの充実
を図ります。

● 平成27年中に
女性就業率
(20~64歳)を

61.5%

まで高めます。

(平成22年:奈良県56.5% [全国最下位]、
61.5%は平成17年の全国平均)

● 平成27年中に
男性の家事関連従事時間
(1日平均)を

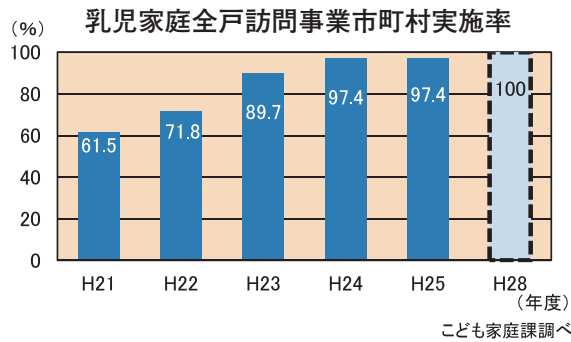
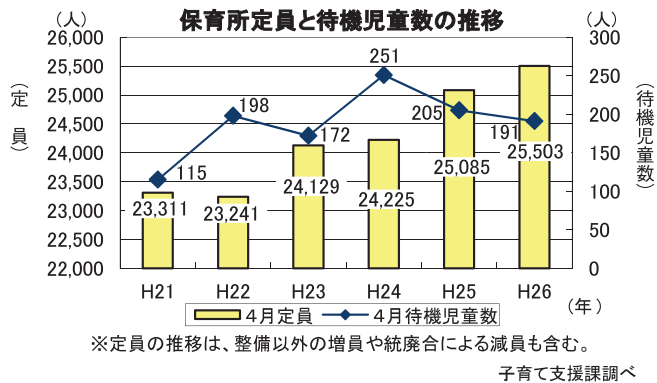
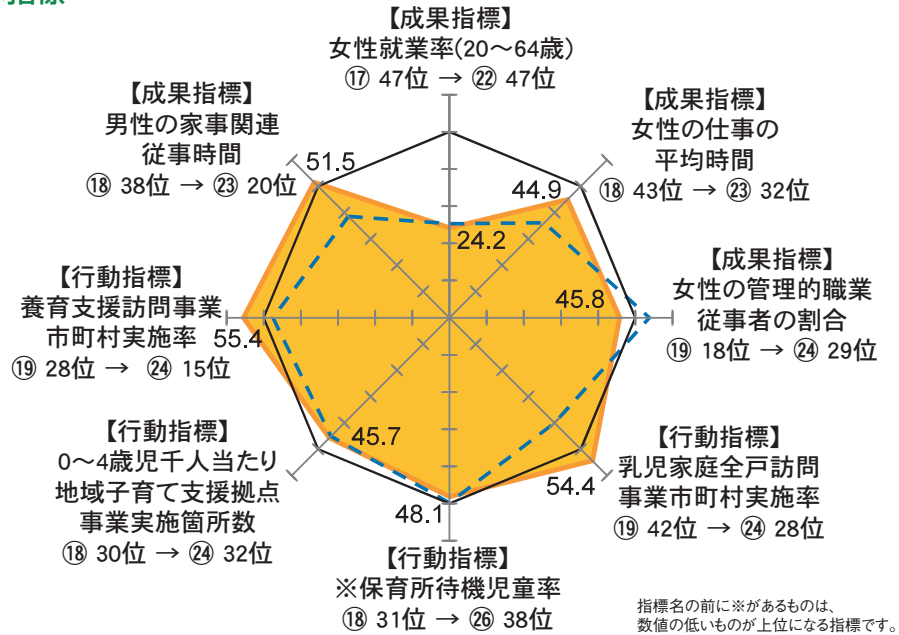
50分

にします。

(平成23年:44分)

分析

■ 主な指標



- 安心こども基金を活用し、民間保育所の保育所新設・増改築を推進した結果、定員は平成21年度からの5年間で2,192人増加しました。しかし、保育所入所希望数の増加が続いているため、保育所待機児童率は、全国31位 (H18年度) から、38位 (H26年度) に低下しました。
- 乳児家庭全戸訪問事業は、平成21年度では24市町村での実施でしたが、平成25年度には38市町村で実施されました。

戦略1 結婚・子育てを応援し、支援します。

担当課：こども・女性局 子育て支援課

戦略目標

- ▶ 子育てに**心理的・精神的な不安・負担を強く感じる母親の割合を平成31年度までに10.0%以下にします。**(平成25年度：13.3%)
- ▶ 子育て家庭が個別ニーズに応じて保育や子育て支援事業等を円滑に利用できるように支援する**利用者支援事業を平成31年度までにすべての市町村で実施**できるよう支援します。(平成26年度：1市町村)

取り組み

地域における結婚・子育て支援活動の推進

子育て応援の気運醸成

若者のライフデザイン形成への支援

幼児期の学校教育・保育及び地域の子育て支援の推進

子育て人材確保対策

子育てに関する多様な支援



奈良県保育士人材バンク (奈良市内)



子育てひろば in 南部 (奈良市地域子育て支援センター「ゆめの丘 SAHO」)

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域における結婚・子育て支援活動の推進				
◎NPO・企業・市町村等多様な主体間の協働による結婚・子育て支援活動の推進	取り組み検討	ネットワーク構築・活動助成・情報発信・セミナー開催		
子育て応援の気運醸成				
◎「なら子育て応援団」の拡充及び子育て応援の県民運動の展開		広報・団員登録		
		子育て応援県民運動「子どもスマイルキャンペーン」		
若者のライフデザイン形成への支援				
◎大学生等若者のライフデザイン形成への支援	取り組み検討	「ライフデザインセミナー」「赤ちゃん先生教室」の開催		
幼児期の学校教育・保育及び地域の子育て支援の推進				
◎保育所緊急整備の推進	民間保育所新設・増改築等に対する支援			
◎延長保育、病児・病後児保育等ニーズに対応した保育の実施		多様な保育の実施に対する支援		
◎放課後児童クラブの設置・運営支援		放課後児童クラブの施設整備・運営に対する支援		
子育て人材確保対策				
◎保育士人材バンクの設置・運営	バンク設置・運営	広報の強化・求人求職マッチング・就職フェア・再就職支援研修		
◎保育士のキャリアデザインへの支援	取り組み検討	保育士キャリア認定・専門研修		
◎子育て支援員等の養成	取り組み検討	子育て支援員・放課後児童支援員等研修		
子育てに関する多様な支援				
◎利用者支援事業と地域子育て支援拠点事業の一体的運営の推進	拠点の充実	子育て支援プログラムの普及・利用者支援専門職員養成研修等		

戦略2

児童虐待防止対策を充実します。

主担当課：こども・女性局 こども家庭課

戦略目標

- ▶ **奈良県児童虐待防止アクションプランに基づき、児童虐待の予防と早期対応や虐待を受けた子どものケアと家庭への支援などの各種の取り組みを実施し、児童虐待防止の強化・充実を目指します。**
- ▶ **児童虐待未然防止研修プログラムを、平成28年度までに全市町村での実施を目指します。**
- ▶ **児童虐待防止の支援ツールである「コモンセンス・ペアレンティング」のトレーナー資格取得者によるプログラムを実施する市町村を平成28年度までに18市町村にします。(平成24年度:2市町村)**

取り組み

虐待の実態把握と要因分析

子どもと家庭を見守る県民の意識づくり

虐待の予防と早期の対応

虐待を受けた子どものケアと家庭への支援

子どもと家庭を支援する体制づくり



オレンジリボンキャンペーン (イオンモール大和郡山)



スポット CM 放送

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
虐待の実態把握と要因分析				
◎児童虐待事例調査・分析の実施	調査・分析の実施	調査・分析に基づく対応策の検討		
◎重症事例検証の実施		重症事例の報告、検証		
子どもと家庭を見守る県民の意識づくり				
◎オレンジリボンキャンペーン等による啓発		継続実施・内容充実		
虐待の予防と早期の対応				
◎児童虐待未然防止研修プログラムの実施		市町村におけるプログラム活用		
◎アウトリーチ型子育て家庭支援の推進	育成講座の実施	訪問員フォローアップ		
虐待を受けた子どものケアと家庭への支援				
◎家庭的養護の推進	推進計画の策定	家庭的養護の推進		
◎施設等退所児童のアフターケア体制の充実	取り組み検討	アフターケアの実施		
◎家族再統合に向けた家庭支援の充実		家族再統合プログラムの実施		
子どもと家庭を支援する体制づくり				
◎県・市町村の連携体制の充実・強化	連携実施	県と市町村の役割分担、情報提供等のルールの検討・確立		

戦略3

女性の就業率の向上を図るとともに、女性の活躍と社会参画を促進します。
 担当当課：こども・女性局 女性支援課

戦略目標

- ▶ 全国平均と比べて落ち込みが大きい、子育て世代である**35歳から39歳の女性の就業率**を平成27年中に**60.2%まで高め**ます。
 (平成22年：奈良県56.2%で全国最下位。60.2%は平成17年の全国平均)
- ▶ 男女の固定的役割分担意識の解消を図り、平成27年中に**女性の仕事の平均時間**を**5時間**にします。
 (平成23年：4時間50分)

取り組み

女性の就労支援（再就職支援・就業継続支援・起業支援）

女性の社会での活躍促進に向けた新計画の策定

女性への暴力防止対策



子育て女性就職相談窓口（エルトピア奈良）



ワーク・ライフ・バランス推進セミナー（かしはら万葉ホール）

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
女性の就労支援（再就職支援・就業継続支援・起業支援）				
◎「子育て女性就職相談窓口」の運営		相談・情報提供の実施、各種セミナーの開催		
◎働く女性を対象とした講座の開催・相談の実施		各講座の開催・相談の実施		
◎女性の起業支援		女性起業家の養成、相談の実施、ネットワークづくり	販路拡大支援	
◎女性経営者等に対する支援	取り組み検討		講座の開催	
◎翻訳者の人材養成		講座の開催		
			講座修了者のフォローアップ	
◎事業所に対するワーク・ライフ・バランス推進支援		事業所に対する啓発推進、事業所の取り組みへの支援		
女性の社会での活躍促進に向けた新計画の策定				
◎女性の社会での活躍促進に向けた検討及び県計画の策定・意識醸成	意識調査	女性の活躍促進を検討する会議の開催 計画策定	検証・見直し	
			啓発イベント等の開催	
女性への暴力防止対策				
◎DV防止に関する啓発、研修の充実		DV防止フォーラム等の開催		
◎DV被害者支援カードの設置			集客施設等への設置	

これまでの成果

結婚を希望される方を応援する取り組みとして、**婚活のスキルアップのためのセミナー等**を平成26年12月末までに**6回開催**し、**約100人が参加**しました。

保育士を安定的に確保し、待機児童を解消するため、県内保育所等における保育士の就労支援を目的とする「**奈良県保育士人材バンク**」を平成26年7月に**開設**しました。平成26年12月末までに**40人の保育所等への就職**が決定しました。

民間保育所の新設・増改築の支援に取り組み、**保育所定員**が前年度と比較して**418人増加**しました。(新設・増改築以外による定員増分を含む)(平成25年4月1日:25,085人→平成26年4月1日:25,503人)

「**子育て女性就職相談窓口**」の開設(平成23年6月)から3年間で**127人の就職**が決定しました。

児童虐待のリスク要因を把握し、具体的な支援策に反映させるため**児童虐待事例の実態調査・分析**を実施しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

女性就業率 (20~64歳)

53.0%
(平成17年度 全国47位)



56.5%
(平成22年度 全国47位)

依然全国最下位であるものの、30~34歳の就業率が上昇したことにより、56.5%に上昇しました。

男性の家事関連従事時間

36分
(平成18年度 全国38位)



44分
(平成23年度 全国20位)

女性の社会進出、就労継続が進み家事時間が減ったことなどにより、男性の家事参加が進み、家事関連従事時間は増加しました。

女性の仕事の平均時間

280分
(平成18年度 全国43位)



290分
(平成23年度 全国32位)

全国平均の時間は減少していますが、奈良県では時間が増加し、順位も上昇しました。

女性の管理的職業従事者の割合

11.3%
(平成19年度 全国18位)



12.1%
(平成24年度 全国29位)

全国順位は下がっているものの、女性の社会進出、就労継続が進んでおり、管理的職業従事者の割合は上昇しました。